

建築土木工学科

キーワード

地方創生、SDGs、都市DX、交通GX、歩行者、自転車、新モビリティ、
スローモビリティ、地域公共交通、観光、スローカブル、まちづくり



教授 / 博士（工学）

吉村 朋矩

Tomonori Yoshimura

学歴

福井工業大学 工学研究科 建設工学専攻 修士課程修了
福井工業大学 工学研究科 応用理化学専攻 博士課程修了

経歴

福井工業大学講師、国土交通省中部運輸局 地域交通マネージャー、環境省 地球温暖化防止コミュニケーションセンター、土木学会 平成29年度全国大会第72回年次学術講演会優秀講演者（2017）、日本都市計画学会 中部支部第27回研究発表会優秀講演者賞（2017）

相談・講演・共同研究に応じられるテーマ

自転車の利活用推進に関する相談等、地域公共交通の活性化に関する相談等、
SDGsを原動力にした地域創生や観光に関する相談等

メールアドレス

yoshimura@fukui-ut.ac.jp



主な研究と特徴

「次代を見据えた持続可能な交通まちづくりに関する研究」

国土交通省により示されている「国土のグランドデザイン2050」のなかで、①交通政策基本法に基づき複数のモード・事業者の連携によるサービスの向上など交通に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。②公共交通や自転車の利用を含め交通手段の多様性や、安全な歩行空間を確保することにより都市部の良好な環境を創出することなどが挙げられている。また、特に地方都市では、これまでの時代のなかで、過度にクルマに依存する社会・都市の形成が行われてきた背景がある。これからの人団減少、超高齢化時代を歩んでいくに当たって、発想を転換することが重要である。

本研究では、30年後・50年後を見据えて、人を中心に捉えた環境にやさしい交通（自転車や公共交通等）を軸にした「交通まちづくり」というアプローチで、現代の暮らしを充実させるための移動とは何かについて追究している。これまでに、バストリガー制度の導入に伴う沿線住民の利用意識に関する調査や、地方都市における自転車を活用したまちづくりの展開と可能性に関する調査、自動車依存による観光の低減に向けた新モビリティ導入に関する調査等を行ってきてている。

「持続可能な社会システムの構築に資する地域の再生・活性化に関する研究」

2015年の国連サミットで、「SDGs（持続可能な開発目標）」が採択されたことを受けて、日本では「SDGsアクションプラン」を取りまとめている。そのなかで、日本の「SDGsモデル」を特色づける三つの大きな柱の一つとして「SDGsを原動力にした地方創生、強靭で環境にやさしい魅力的なまちづくり」が挙げられている。さらに、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と「東京圏への一極集中」の是正をともに目指すこととしている。

本研究では、持続可能な社会システムの構築に資する地域の隠れた魅力を掘り起こし、既存の資源とともに有効に活用していくための方策について追究している。これまでに、星空の価値の見える化と地域資源としての可能性に関する調査、グリーンモビリティを利用した観光に関する調査、福井県内の大学と高浜町との協創による木造民宿や路地、海などの景観資源を活かした「景観・空き家活用・観光まちづくり」の実践を行い、住民主体の自律的なまちづくりに貢献できるよう取り組んできている。



図1. 多様な交通手段・カーフリーダーでのキッズバイク



図2. 豊かな暮らしと観光の提案・和田de路地祭の様子

今後の展望

歩行や自転車、公共交通、クルマといった移動の多様性、自由な移動ができる社会こそが、現代の暮らしを充実させるための重要なファクターであると考えている。距離や目的、シチュエーションによって移動を使い分けることができれば、「誰もが暮らしやすいと思えるまち」の創出につながり、人生の自由にもつながるのではないかと考えている。これらのことを踏まえ、地域住民や旅行者の移動ニーズに対応して、移動や地域資源との組み合わせを提案していきたい。

また、次世代型シェアサイクルや電動キックボードシェアリングといった新モビリティサービスと公共交通を活用した観光を一つのきっかけとして、観光客の誘引のみならず、地域住民が過度にクルマに依存するライフスタイルから移動手段の多様化による新たなライフスタイルへの誘因について、産官学民連携によって追求していきたい。以上、人と環境に優しい多様なモビリティが共生する誰もが暮らしやすいと思えるまちといったゆっくりを軸としたスローカブルなまちづくりの実現に向けた方法・取り組みについて横断的な協働によって見出したい。今後も、ストリートやモビリティなどのリサーチを行い、新たな移動も含め移動の価値を創造していくとともに、人と環境に優しく全ての人が笑顔で暮らせる社会について都市と交通の観点から考えていきます。

所属学会

公益社団法人土木学会、公益社団法人日本都市計画学会、Eastern Asia Society for Transportation Studies(アジア交通学会)、一般社団法人交通工学研究会、一般社団法人交通科学研究会、特定非営利活動法人 福井地域環境研究会

主要論文・著書

吉村朋矩,三寺潤：自動車依存による観光の低減に向けた新モビリティサービス導入の可能性に関する研究,交通工学論文集,Vol.9,No.4,pp.A_120-A_127,2023.

吉村朋矩,山田将大,近藤晶,三寺潤,中城智之,吉田友美:グリーンモビリティを利用した星空観光の可能性－福井県での事例として－,交通科学, Vol.50 , No.1 , pp.3-9 , 2019.

公益社団法人土木学会 土木計画学研究委員会 自転車政策研究小委員会委員長 山中英生編:自転車通行空間整備・計画事例集 増補版Ⅱ,2015.